

11.09  
19:00～

# まちの作戦会議@谷中 / 市田邸 公開作戦会議 # 01

## まちの景観と仕組みづくりのこれまでとこれから

まちの作戦会議@谷中は、谷中地区のまちづくりの蓄積と最新の事情を学びながら、文化資源としての景観・生活文化を継承、活用するための作戦を考え、しくみとして提案することを目指す、地域の専門家や実務家として活動、もしくは活動しようする人を中心としたプロジェクトです。11/9は第一回の公開の作戦会議として、谷中地区の景観としくみづくりのこれまでと現在を共有、まちの景観としくみづくりの最新事例を学びながら、これからを考えるための視点について議論していきます。

- プログラム
- 1 まちの作戦会議の進め方（プロジェクトスクールのめざすところ）  
椎原晶子（NPO たいとう歴史都市研究会）片桐由希子（首都大学東京）宮崎晃吉（HAGISO）
  - 2 事例報告：守るべき景観とヴィジョン・まちなみルールのあるあり方
    - ① 谷中のマンション見直しとルールづくりの経過：山村咲子（山村咲子建築アトリエ・谷中のこ屋根会）
    - ② ヒマラヤ杉と寺町谷中の暮らしと文化、町並み風情を守る会・谷中ベビママ安心ネット：矢嶋桃子
  - 3 講義：多様な主体の合意形成と街並み形成（仮） 小林正美（明治大学教授）
  - 4 議論：まちのしくみづくりに向けたアプローチ

■会場 市田邸（東京都台東区上野桜木 1-6-2）

■参加 資料代等として、東京文化資源会議会員・学生・各関係者は 500 円、一般 1500 円をいただきます。当日会場にてお支払いください。また、文化資源会議への入会は、当日会場でも受け付けております。

■参加申込み 東京文化資源会議のホームページ (<http://tohun.jp/>) より。11/6 までにお申し込みください。

定員：30人程度

\* 定員が超過した場合には、文化資源会議会員、近隣にお住まいの方、5回の公開討論会（第1回 11/09、第2回 12/07、第3回 01/18、第4回 02/1、第5回 2/14 時間 19:00～にある程度継続して参加できる方を優先とさせていただきますので、ご了承ください。参加の可否については、11/7 までにご連絡いたします。

■お問合せ [ps-yanaka@tohun.sakura.ne.jp](mailto:ps-yanaka@tohun.sakura.ne.jp) 椎原・片桐 まで

作戦会議@谷中では、地域で活動する専門家、専門家を目指す人が集まって、谷中のまちのなかで、生活と文化が積み重なりつくられてきたまちの風景をつなぐしくみ、それを定着させるための方法を探っていきます。

### ■プロジェクト課題：文化資源区のまちのしくみづくり

地域の歴史文化を活用したまちづくりに先駆的に取り組んできた谷中地区において、その蓄積と最新のまちづくりの事情を学びながら、谷中地区を対象に、文化資源区としての景観・生活文化を継承、活用するためのビジョンと具体化のしくみを提案します。住民、地権者、行政、専門家の動きが連動するためのしくみとして、まちのあり方とそれを支えるための各自の活動の方針、実現手段を整理し、定着するための試みを行います。

プロジェクトの目標は、以下の4点に集約されます。

- ・谷中地区におけるまちのビジョンとしくみの整理と提案
- ・住民、地権者、行政、専門家の長期的な生活ビジョンの提示
- ・各種制度の活用、経済性の確保に関する検討と提案
- ・各主体間の情報共有、コミュニケーションツールの提案

### ■めざすところ：文化資源区の人材育成と活動の場の発見

プロジェクトスクールでは、文化資源会議の人材育成として、文化資源を活用した地域の課題の解決を通じて、若手実務家・専門家とそのたまごである学生が、地域によりそって活動するための知識・技術をみがき、また、そこで得られた地元とのつながりや人的ネットワークから、活躍の場を広げていくことで、文化資源区のまちづくりを担う人材となっていくことを目指しています。

今期の谷中でのスクールは、このプロジェクトスクールのプレ企画として実施するものです。まちのしくみに関する検討を通じ、来期以降には、空き家の保全・活用、寺町としてのこれからのあり方の提案など、より具体的なプロジェクトへの展開も想定しています。

### ■企画・運営

◎椎原晶子（NPO たいとう歴史都市研究会） ○片桐由希子（首都大学東京）  
宮崎晃吉（HAGISO）